

電子機器用・通信機器用部品製造業における起因物なしを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	20~21	派遣会社送迎バスにて出社時、送迎バスにて出社時に、バス降車後数歩歩いた後、ふらつく様に転倒した。その際、駐車場アスファルトにて顔面を打ち付け負傷した。被災者には持病（糖尿病）があり過去にも低血糖状態となり、何度かふらつきを発症している。	49	500 ～ 999
3	16~17	5階作業場にて、プラスチック成型品に導線を差し込み固定したり、その導線を接着する作業を行っている時に、複数の高さの違う作業台を使い立ち作業をしていた際、腰を捻る動きや反るような動きもあり、足元のペダルの位置も体に合っていなかったため、腰に激痛がはしった。	38	10 ～ 29
4	17~18	終日、床にマスキングテープを貼る作業をしていた。起居（立ったり座ったり）による屈伸の繰り返しにより両膝を痛めた。筋肉痛と思い様子をみたが、翌朝に膝の痛みが強くなった。	58	10 ～ 29
5	19~20	成型機（23号）のランナー（プラスチックのくず）が自動的に入り溜まるゴミ箱にランナーが盛り上がり溜まっていたので、右手で上から押し込む際に、右手母指が少し変に曲がったような感じがあった。	24	100 ～ 299
7	13~14	高さ80cmの所に置いてある、材料の入ったダンボール箱（1辺40cm前後のほぼ立方体、重量6kg程度）を、使用材料置場へ移動させようと持ったときに、左肩と腰を痛めた。	45	30 ～ 49

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html